

令和4年度 文京区立窪町小学校 授業改善推進プラン 家庭科

	授業における課題 (児童の実態・教師の指導上の課題)	具体的な授業改善策
5年	<ul style="list-style-type: none"> 初めての家庭科ということで、非常に興味・意欲の高い児童が多い。一方、技能を身に付けるために要する時間にかなり個人差がある。個に応じた指導を工夫する必要がある。 	<ul style="list-style-type: none"> 十分に技能が身に付いている児童には発展的な課題を用意し、苦手な児童に対しては、少しずつ区切りながら学習内容や活動内容を説明する。 一人一人に基礎的・基本的な知識及び技能を定着させるために、グループ指導・個別指導などを適切に取り入れる。 分かりやすい掲示資料や実物見本、映像等を作成し、有効活用する。
6年	<ul style="list-style-type: none"> これまでの生活経験と学習を結び付けながら、家庭科に意欲的に取り組んでいる児童が多い。さらに家庭での実践につなげられるような題材の工夫をしていく必要がある。 2年間で、基礎的・基本的な知識及び技能を確実に身に付けさせられるように、さらなる題材構成の工夫が必要である。 	<ul style="list-style-type: none"> 毎時間の課題を明確にし、やり遂げる喜びや自信がもてるよう指導していく。 興味・関心を引く教材を選択するとともに、家族を意識させてやる気や想像力を育む指導を進める。 児童が学習内容を実生活に生かせるよう、実態把握をしたうえで指導を進める。 既習事項を生かして学習できる題材構成にしていく。そのために、題材ごとのつながりを明確にして、指導を進める。 調理実習における調理用具やガスコンロ、裁縫における針・ミシンやアイロンの扱いに関する安全面については、掲示物や声かけにより、繰り返し注意を喚起していく。 一人一人に基礎的・基本的な知識及び技能を定着させるために、学習ごとにグループ学習・ペア学習・個別学習などの学習形態を適切に選択して指導を進める。